学校番号	311

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「文学国語」（数研出版）						
副教材等	「文学国語　準拠ワーク」（数研出版）、 「ポイント整理　ブラッシュアップ常用漢字　三訂版　漢検対応 8～2 級」（明治書院編集部）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な小説や古典に触れ、人の生活、習慣、考え方を学び、それらが自分自身を見つめ直すきっかけとなるよう授業を進めていきます。
・小説では板書により理解を深め、ノートと教科書を中心とした授業を行います。
・古典分野において現代では見かけないような事柄は、映像教材を利用し古典の世界への理解をより深めていきます

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」，「読むこと」の各領域において，深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	平成の小説 ［教材］鍋セット	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート
	平成の小説 ［教材］無用の人	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート
	詩歌 ［教材］短歌	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使えている。 b[書]：文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c：鑑賞文の作成に取り組もうとしている。	定期考査	ワークシート	ワークシート
	昭和後期の小説 ［教材］三月の風	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c：冒頭の英文と最後の一文が作品全体に対して持つ意味合いを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート
	昭和初期の小説 ［教材］山椒魚	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：考えを整理して山椒魚の考え方や行動に対する感想を述べ、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート
二学期	詩歌 俳句	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[書]：文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c：積極的に俳句の創作に取り組み、見通しを持って、句会に参加しようとしている。	定期考査	ワークシート	ワークシート

	昭和後期の小説 ［教材］山月記	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c：人間が虎になるという設定の効果について考察しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート
	漢文 ［教材］人虎伝	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：『山月記』と『人虎伝』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	小テスト	ワークシート	ワークシート
	大正の小説 ［教材］こころ	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：作品の主題を考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート
三学期	平成の小説 ［教材］クリーム	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c：「中心がいくつもあって、しかも外周を持たない円」の意味を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート
	平成の小説 ［教材］ひよこの眼	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って説明しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート
	文学的文章の創作 ［教材］物語のおわり	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c：『物語のおわり』の中で『空の彼方』という小説がどのような機能を持っているかを踏まえ、学習課題に沿って『空の彼方』の結末を創作しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　３５　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間